



農業の先行き訴える

長谷山二郎議員 ①昨年は米価すえ置き、見込みがよい減収により始めて出かせぎに出た人が多勢いる。これに追いつけるような減産減反政策であり70年代の暮あけは暗いスタートである。先日の減産部配分の会議で、割減反には協力するが増収した場合に全量渡しができるかとの質問に、村長は明確な答弁をしていない。これらの現実をどう判断しているか。②国の総合農政によれば水稲では四〇五町歩が適正な経営規模という。これに従うと私の部落では三戸の農家で足り、村では現在の四分の一〇五分の一の農家戸数になると思う。農業を今後とも村の基幹産業として考えるか。同時に兼業農家と零細農家の対策は。③米につぐ村の産業は何か。④出かせぎ対策として、出かせぎを将来も奨励するかまた一時的現象としてあたるか。男子の就業ができるような安全企業の誘致をのぞむ声に対処して進めるか、それとも本荘市あたりへの通勤就業をすすめるか。⑤教育委員会事務局に一人増というが、予算書には載っていない。管理部門の合理化を進め、公民館

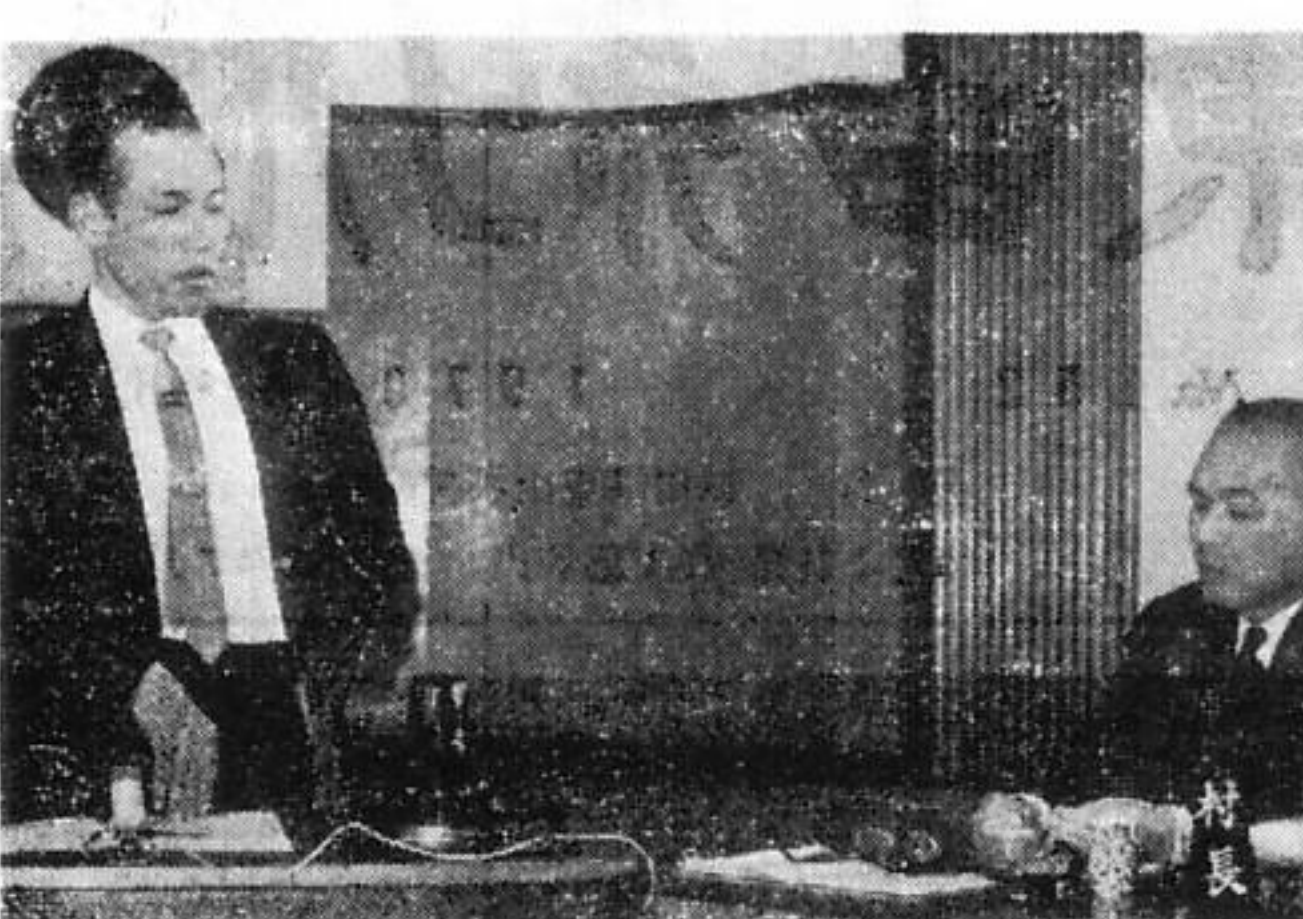
混迷の農政に対策は



小野氏

小野昭一議員 ①米の生産調整を引受けるにあたって村長は無条件に受けたか。②米生産調整事務を取扱うことは地方自治法にないと思うが何に準拠したか。③国会で食料増産は、食糧法があっても買入れ制限ができるかと言いつつ、臨時工と通年雇用の従業員を

一般質問 農政に集中



川尻氏

一石二鳥の米飯給食

川尻幾郎議員 ①企画室の設置を望む。村は米とともに成長し続けてきたが、農業の危機をむかえ、今こそ視野を広めて村独自の経済行政を確立すべきである。広く情報を集めて企画構想を練り、村行政の推進力にすべき。②農産物の自由化時代に対処して米につぐ畜産力を入れるべきである。そのためには乳、肉牛がいかなる市場相場にも耐えるような生産体制が急がれる。若林放牧場を拡張し村営にして、夏山冬里の理想的経営に推進すべきと思うが、③学校給食を副食主体に切りかえよ。米飯だけを持参させるか、給食費の一部を米で納入させれば、現金支出が減る。一方販売促進にもつながる。ただその場合、国県からの補助は変わらないか。また栄養比較はどうか。



遠藤氏

小学校統合に勇断を

遠藤兵一議員 ①法内県道のうち整備されたものは白沢峠をふくめて約七〇〇坪であり五十年を要している。この速度で進むと今後相当の期間を要し、地域住民の要求は切実である。どう促進していくのか。②小学校統合をどう考えているか。村民の大半は納得できる原案さえ示せば、前向きに検討すべき時期としていよう。もし不足な面があるとなれば村長の決断と勇気であり、教育委員会の原案作成の意欲であると思う。③道路と公共施設に提供した用地の移転登記の実態はどうか。面積と筆数、課税の対象として

整理したと聞く。対象者は労働協約も交わしていないので泣き寝入りしている。▽募集には村も協力しており責任の一端はあるが事前に相談をうけたか。▽建物の賃借契約の相手方は誰か。▽改造の際はそのつど承認を与えたか。村長 ①行政の責任者としては、食糧維持を前提に協力しようということである。食



田代氏

畜産にうんちく

田代善治議員 ①酪農指導員がいなくなつて関係者は不便だという。今後設置するの。②43年に比べ44年は乳牛が二頭も減つていない。飼育農家の不満の現われではないか。③多頭飼育のためには草地が不足だ。山野に恵まれる本村では草地化が可能なので村有地を安価に、または無償で解放し進められないか。④最近の人手不足と化学肥料の高騰などで草地に手入れがとどかない。衛生車みたいな車で牛尿を散布すれば効果があるので購入して貸しつける考えはないか。⑤本村の肥育牛は良質だと評判だ。草地開発公社が行なおうとしている若

3月村会初日の午後は、一般質問に通告の長谷山(二)遠藤(正)、川尻、田代、藤原、長谷山(喜)、小野(昭)小松(与)、遠藤(兵)ら九議員が、また通告外では小松豊議員が立ち主として農政問題にともなう展開策を取上げて論陣をはった。なお、議員の一般質問に先だち、小松豊議員から「任命制による教育委員のもとでは事実上の権限は村長にあると解するので、最高責任者た

佐藤教育委員長 米飯給食では炊事設備と炊事婦を増す必要がある。文部省でも研究指定校という動きがある段階であり補助面は明らかでない。川尻案では、いまの設備でも可能と思うし、父兄、学校と協議する一方、文部省の資料により研究を進めたい。佐々木教育長 (カローリ比較のあと) 米飯の場合は副食でバランスを考えねばならぬ高価にならう。

村長 ①道路改修で現在いちはん難儀をしているのが一般県道である。大抵少ない予算を全県に配分するのだから遅々として進まない。法内の県道は利用度が高いのであり一日も早く住民の要求に答えたいし、指摘されるまでもなく十分がんばつてゆきたい。②小学校統合は勇断だけではどうにもならない。戦後二十余年を経て六・三制の手直し案がでるなど動きが見えてきた。とは言え、どう変つてゆくのか説みつくと要素が出てくる。また幼少児童が対象なので輸送手段、冬期除雪、村・県道改修など客観情勢と相関的に考えなければならぬ。小野税務課長 登記済みもあり未済もある。時代が不明

管維持が条件といえはばいえる。⑤米生産調整事務が自治体に義務づけられていないが、住民の生活を守る行政の立場で国の農政に協力するということである。⑥買入れ制限があるとするれば心配である。私の個人的見解だが、減反政策が失敗すれば、つぎの手段はあるものと考ええる。④農業の新方向になるものであれば村費

船肥育牛の貸付け制度も活用するなど、余剰労働を生産に結びつけた。村長 酪農指導員がいらないことは大きな問題である。ただ設置の場が農協が役場かには意見の別れるところである。どうしても役場にとの客観的な結論に達すれば村費支出は差支えない。ただ有能な人が今すぐ得られるかには問題が残る。②飼育頭数の増



藤原氏

国保税他との位置

藤原虎之助議員 ①予算は固定化しており、かゆいところに手がとどく住民へのサービスが期待されるか。②時間外勤務手当は給与に対する正規外の、いわゆる過重労働に

る。③地域で教職をとおして使命を果してくる方々に対して、村を代表するの処遇。また人間的な接点などへの配慮がある。④予算の提案権が村長にあるので、教育委員会の中立性または独立性は言っても、村長の影響力が全くないとはいえず、その意味では教育全般にわたる責任も村長にあると解釈してもよいと思う。

伊東助役 救急業務は由利組合病院独自のものと解釈している。阿部住民課長 寝たきり老人は一人である特殊ベットの44年度に県から一台の割あて(県で三分の二補助)があった45年度は二台を希望している。誰に与えるかは民生委員と相談して決める。総務課長 開票立会人は候補者からの届出の中から選挙管理委員会が抽せんを選んでき、得票数をメモすること、特に規制はしていないが、開票の公正には十分留意している。もし疑惑をまねくとすれば改める必要を感じた。

小松与雄議員 米の生産調整をひかえ、村民経済の成長と所得向上のために、何が未来産業と考えるか。村長 未来産業というものは新しいものができるかとの意味と考えるが、やはり中核は畜産、林業と思う。ただし、いかに工業をかみ合わせて農業の発展をはかるかが、産業の未来像になると思う。

支出も差支えない。⑤農協合併は、構成する組合員自体のものであり、行政が出すものにかえて阻害することになる。⑥共和電子のことは調査して困ったことがあれば措置したい。賃借契約の相手方は共和電子社長、佐藤裕男である。工場の便宜上の改造は黙認している。

中学校二期工事へ下郷分校は体育館 統合中学校建設につき述べたい。第一期工事は昨年6月30日に発注し、その後順調に経過している。

第二期工事は建面積一、五二〇平方メートル(約四五坪)であり、躯体設計は秋田市、田口設計事務所、設備設計は東京、第一設計事務所である。工事発注は4月の中、下旬に予定している。

再質問 笹倉住道は45年度に繰りあげ完成をという政治的配慮はできないか。梅津経済課長 本年49年度完成予定のところ、ようやく46年度に、ということである。

創意もあろう 小松豊議員 米減産という村産業の危機は、それぞれが創意工夫をもち寄らなければ発展しないと考える。①不自由を忍んで開発した村内の有製品などに、村がテコ入れして地場産業に育てる考えがある。②草地公社に行ったら、以外に有利な畜産振興上の手はずがあった。情報に対しては、その機関を問わず、産業発展のために協力する。③ことは、出かせぎ者が大量に見込まれるため、雇用条件がきびしいと聞く。村長は出かせぎ者が帰村の後に話を聞いて問題があるので、通年出かせぎの問題もあるので、先んじて手を打つ必要がある。

村長 ①固定した価値観念では流動の時代は捉えられない。地場産業の件は検討の余地があると思う。②畜産振興の件は、関係の方面とよく連絡をして、成果があるように措置してゆきたい。③ことは出かせぎに対する見とおしと体制をもたねばならないので、帰つたら多数の方と意見を交換したい。